



光受寺通信

H.23・11月1日

10月ともなると「ああ今年も残りわずかなあ」と年月の過ぎ去る速さへの命のあせりと、やり残した事への反省の深さに、深くため息を漏らすのです。11月ともなれば、まずは年末の諸行事が頭に浮かび、「まだまだこれからが大変」と気を引き締め直し、奮い立とうと努力している今日この頃です。

中でも報恩講は1年の一大行事であり、その準備には、11月の寺の日々の全てを費やすといってもいいくらいです。本年は改修工事が行われていることから、どこまで準備が整うか、遅れ気味の工事を思うと、全く予測がつかない状況となり、例年にも増して緊張感とあせりを感じてしまいます。

報恩講。それは親鸞聖人はじめ、念仏の教えに生きてこられた先達に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いるためのおつとめであります。

報恩講を迎えるにあたっては、例年、おみがき、仏華立て、境内清掃、総会準備等々を、多くのご門徒の皆さんのお力をお借りしながら、徐々に整えられていきます。こうして今日まで人々が寄り合い、共にふれあいながら聞法する場としてあることを願われて、脈々と続けられてきているのです。

いかに時代が変わろうとも、法灯は変わることなく、ただひたすらに私たちを照らし続けてくださっているのです。恩に報いる(報恩)とは、まずはその場に自らが身を置き、そして「ほんとうの私」に出会わせていただくことではないでしょうか。

年に一度の報恩講。ぜひお参りいただき、自らの生活を振り返る大切な機縁にさせていただけることを切に願っています。

十一月～十二月の主な行事

遷座式

十一月下旬予定・阿弥陀さまを、庫裏から本堂へ

お移しいたします。

特別永代経

十二月中旬予定 工事の都合で遅れてしまっております。

おみがき

十二月二日(金) 午前九より～十二時まで

お昼用意いたします。

多くの方のご参加、ご協力をお願いいたします。

報恩講

十二月十一日(日) 午前午後 お齋あります。

法話 倉角秀悟師

終了後 門信徒総会 修復工事経過報告も

させていただきます。

十日講

十二月十二日(月) 午前九時半より～十一時ごろまで

年に一度の報恩講にはぜひお参りをしていただきますように。
真宗門徒としての務めでもあります。()

法話 組内法中 住職

報恩講の次の日ですが、教如上人(東本願寺初代)のお勤めです。

ぜひお参りください。

除夜会

十二月三十一日(土) 午後十一時四十五分

除夜の鐘についてお正月を迎えましょう。

あたたかいおぜんざいを用意しています。



本堂改修状況 その6

本堂改修工事もやっと大詰めとなってきました。しかしながら現在のところ、進行状況はかなり遅れているようです。

大工仕事についてはおおよその作業が終わり、残るは細かい部分の調整や、一部壁面の板張りがわずかに残っている程度です。あとは左官仕事が残っていますが、これもおおよそ目途が立ち、これからは建具が入ってきます。また屋根の一部補修や点検については、まだまだこれからというところで、完成までにはまだしばらく回数がかかるようです。

専門にしましても今月いっぱいばかりです。

なお、お内陣のお洗濯につきましては、当初の修復計画には入っておりませんでしたが、改修工事を行うにあたり、同時に実施した方が有効であると判断し、遠慮までの修復予定を先取りし、同時進行で修復中であります。皆様のご理解をいただきたいと思います。



唐破風に銅板が張られました。あとは鬼瓦が取り付けられて完成です。

海老高粱(えびこうりょう)とかわれましたが、漢字に自信はありません。その取り付け作業です。とても大変そうでした。海老の姿に少し似ているからかな？



真新しい縁と高欄(こうらん)です。

当初は新調しない予定でしたが、取り付け部分の腐食が多かったことで、破損したりすることもあり、新調となりました。

御礼とお願い……おかげ様で皆様方からのご寄進へのご回答は、今のところほぼ順調にいただいております。しかし、まだご都合によりご連絡いただいていない皆様もごさいますので、できるだけ早くお知らせいただくことを改めてお願いを申し上げます。尚、本年中に御完納予定の皆様もお早めにお問い合わせいたします。

宗祖七百五十回忌ご遠忌予定について

今のところ平成二十五年五月を予定いたしております。

稚児行列を実施するかどうかは、今のところ未定ですが、役員会にて今後よく検討し、改めてご連絡を申し上げます。

いずれにしても、皆様方のご支援、ご協力をいただかなければなりません。今後ともよろしくお祈りをいたします。

新聞の原稿募集中。

皆様の思いをお寄せ下さい。インターネットで光受寺情報発信中。

Koujyuji.comにて。

光受寺で検索しても見れます。(公式ホームページ)